

冷却効率の向上

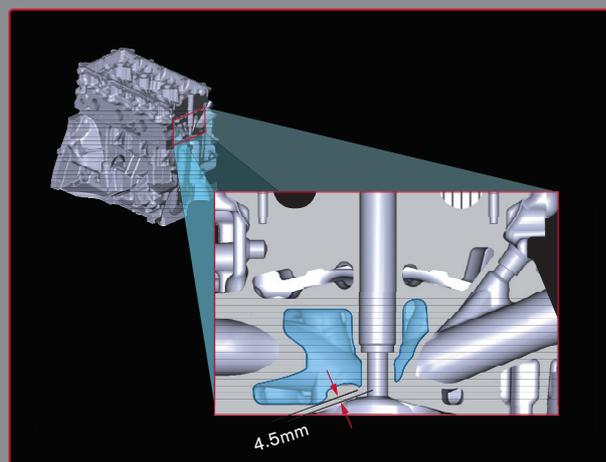
燃焼室の冷却効率の向上を図ることで安定した燃焼を実現。高出力と低燃費の両立にも寄与します。

燃焼室まわりのウォータージャケット*の薄肉化

エンジンは冷却効率を向上させることで、高い圧縮比における燃焼でもノッキングの発生を防止します。

HR/MRエンジンでは、剛性強度を十分に保持しながら燃焼室周辺のウォータージャケットの肉厚を従来エンジン比でおよそ25%薄い、約4.5mmに薄肉化。ウォータージャケットの容量を拡大することで、冷却効率を向上させています。

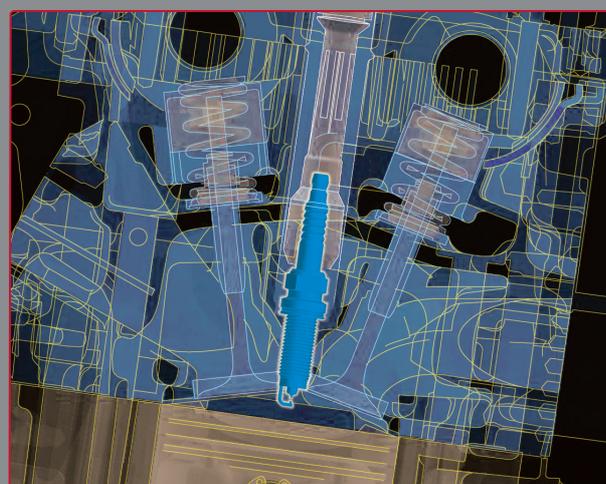
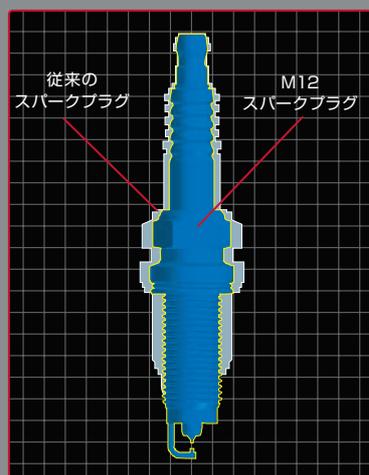
*ウォータージャケット
シリンダーブロックとシリンダーヘッド内部で冷却水を通す通路。
燃焼で発生する大量な熱による部品の変形や焼け付きなどを防ぐとともに、適正な燃焼状態を維持します。



燃焼室まわりのウォータージャケット

M12スパークプラグの採用

サイズ径の小さいM12スパークプラグを採用し、ウォータージャケットの、より自由なレイアウトを可能としています。これにより一層冷却効率を向上させています。



M12スパークプラグ